



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社
 コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門担当 (氏名) 本間 豪 TEL 06-4391-1123
 四半期報告書提出予定日 2021年5月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,271	—	△190	—	△232	—	△147	—
2020年12月期第1四半期	5,773	—	2,757	—	2,702	—	1,870	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 △68百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 1,863百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△3.39	—
2020年12月期第1四半期	43.56	43.28

(注) 1. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、前第1四半期連結累計期間については、当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2020年4月1日～2020年6月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2020年1月1日～2020年6月30日）、当第1四半期連結累計期間については、海外子会社を含むグループ全体で2021年1月1日から2021年3月31日を連結対象期間としております。このため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2021年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	28,609	21,944	76.7
2020年12月期	31,757	22,781	71.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 21,941百万円 2020年12月期 22,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	7.00	—	18.00	25.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	7.00	—	13.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	—	4,500	—	4,400	—	3,100	—	71.57

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、通期については、当社並びに3月決算であった連結子会社は9ヵ月（2020年4月1日～2020年12月31日）、12月決算の連結子会社は12ヵ月（2020年1月1日～2020年12月31日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	44,016,900株	2020年12月期	44,001,900株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	685,695株	2020年12月期	685,695株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	43,331,205株	2020年12月期 1 Q	42,942,537株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ホームページに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年6月26日開催の第74回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、2020年度より決算日を3月31日から12月31日に変更致しました。このため、前連結会計年度は決算期変更の経過期間となり、前第1四半期連結累計期間については、当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2020年4月1日～2020年6月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2020年1月1日～2020年6月30日）を連結対象期間とした変則決算となっております。このため、対前年同期比については記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2021年に入り新型コロナウイルス感染症の流行が再び拡大し、緊急事態宣言の再発令による経済活動への影響により、前期より引き続き厳しい状況にて推移しました。

足元においても、変異株の拡大によって新型コロナウイルスの感染者数は再び増加傾向にあり、3回目の緊急事態宣言が4都府県に発令される等、先行きは不透明な状況が継続しております。

このような中、当社グループは衛生管理製品「クレベリン」の安定供給に努めるため、前期より生産能力向上やサプライチェーンの強化に努め、また急激な需要増加の際に備え、手厚く商品の在庫を確保してまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間においては、例年は季節性インフルエンザ関連の需要が高まる時期でありましたものの、本年は季節性インフルエンザの流行レベルが例年に比べて極端に低く、また新型コロナウイルス関連の需要においても、他社の商品を含め、すでに店頭等での市場在庫が飽和状態にありましたことなどから、感染管理事業の販売は低水準で推移しました。

また、医薬品事業につきましても、前期から需要水準に大きな変化はなく、国内外ともに低調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,271百万円、営業損失は190百万円、経常損失は232百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は147百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

(医薬品事業)

医薬品事業につきましては、消費者の外出自粛やインバウンド需要消失の状況において、前期から変化は乏しく、主力の「正露丸」「セイロガン糖衣A」は低調な状態が続き、国内向けの売上高は596百万円となりました。海外向けの売上高につきましても、国内と同様に前期から大きな変化はなく、現地での需要は低水準のまま推移し、303百万円となりました。

その結果、売上高は900百万円、セグメント利益は287百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（医薬品事業）

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間（注） （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）
国内	835	596
海外	178	303
合計	1,013	900

(注) 当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2020年4月1日～2020年6月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2020年1月1日～2020年6月30日）を連結対象期間としております。

(感染管理事業)

感染管理事業につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大はいまだ収束しておらず、消費者の衛生管理意識は前期からの高い状態のまま続いております。一方、新型コロナウイルス流行の長期化による不安度の鈍化や、ワクチン接種が始まったこと等から、昨年同時期に発生した突発的な需要はすでに消失しており、当第1四半期連結累計期間における除菌関連製品の流通在庫は過剰の状態にて推移しました。これらの影響によって国内一般用製品につきましては、前期の需要急増に対して、当第1四半期連結累計期間の反動減は当社の想定より大きいものとなっております。海外向けにつきましては、新規チャネルの開拓を積極的に行ってまいりましたが、主要国（中国、台湾）の流通在庫が日本国内の状況と同様に高い水準にあり、新たな需要促進が進みませんでした。

その結果、売上高は2,368百万円、セグメント損失は97百万円となりました。

・外部顧客への売上高の内訳（感染管理事業）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間（注）1 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）	当第1四半期連結累計期間（注）2 （自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）
国内：一般用	3,839	1,806
国内：業務用	630	478
海外	287	83
合計	4,757	2,368

（注）1. 当社並びに3月決算であった連結子会社は3ヵ月（2020年4月1日～2020年6月30日）、12月決算の連結子会社は6ヵ月（2020年1月1日～2020年6月30日）を連結対象期間としております。

2. 当第1四半期連結累計期間より国内一般用と業務用の売上区分の一部を変更しております。当該影響によって当第1四半期連結累計期間の一般用の売上は126百万円増加し、業務用の売上は同額減少しております。

（その他事業）

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は1百万円、セグメント損失は7百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は28,609百万円（前連結会計年度末比3,148百万円減）となりました。また負債合計は6,664百万円（同2,312百万円減）、純資産合計は21,944百万円（同836百万円減）となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等による流動資産3,693百万円の減少や支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少等による流動負債2,321百万円の減少、また、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による純資産836百万円の減少等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の状況と致しましては、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、また3回目の緊急事態宣言が各地域で発令される等、当面は外出自粛等の制限は続くものと想定されます。医薬品事業につきましては引き続き厳しい市場環境が見込まれますが、概ね当初の予想通り進捗するものと予想しております。一方、感染管理事業につきましては、除菌市場の需要動向が不透明な環境の中、当社としては変異株を含む新型コロナウイルスに対する二酸化塩素の有効性データ取得とともに、新製品の拡販や業務用向けの新規販売チャネルへの注力を急いでおりますが、業績への影響は予測し難い状況となっております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、2021年2月12日に公表した年間220億円の予想に対し、主に感染管理事業において想定を下回る進捗状況となっておりますが、現時点では業績予想の変更は行っておりません。今後修正が必要であると判断した時点において速やかに公表することと致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,944	4,706
受取手形及び売掛金	7,918	3,279
商品及び製品	5,409	6,421
仕掛品	339	434
原材料及び貯蔵品	659	712
その他	549	573
流動資産合計	19,822	16,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,359	3,284
機械装置及び運搬具(純額)	1,676	1,622
土地	1,820	1,820
建設仮勘定	2,004	2,550
その他(純額)	586	601
有形固定資産合計	9,446	9,878
無形固定資産	319	367
投資その他の資産		
投資有価証券	1,231	1,229
その他	938	1,005
投資その他の資産合計	2,169	2,235
固定資産合計	11,935	12,481
資産合計	31,757	28,609
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,928	1,508
短期借入金	—	1,000
未払金	2,067	1,704
未払法人税等	1,113	9
返品調整引当金	120	113
賞与引当金	455	93
役員賞与引当金	57	—
その他	744	738
流動負債合計	7,487	5,165
固定負債		
長期末払金	549	549
退職給付に係る負債	742	758
その他	197	190
固定負債合計	1,488	1,498
負債合計	8,976	6,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148	1,154
資本剰余金	1,516	1,522
利益剰余金	20,509	19,582
自己株式	△480	△480
株主資本合計	22,693	21,778
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	83	162
その他の包括利益累計額合計	83	162
新株予約権	4	3
純資産合計	22,781	21,944
負債純資産合計	31,757	28,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	5,773	3,271
売上原価	1,636	1,271
売上総利益	4,137	1,999
返品調整引当金戻入額	221	120
返品調整引当金繰入額	319	113
差引売上総利益	4,039	2,006
販売費及び一般管理費	1,281	2,197
営業利益又は営業損失(△)	2,757	△190
営業外収益		
受取利息	3	0
為替差益	—	31
受取賃貸料	1	0
その他	1	7
営業外収益合計	6	40
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	3	—
賃貸費用	0	0
未稼働設備関連費用	56	81
その他	0	0
営業外費用合計	61	82
経常利益又は経常損失(△)	2,702	△232
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,702	△232
法人税、住民税及び事業税	626	11
法人税等調整額	206	△96
法人税等合計	832	△85
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,870	△147
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,870	△147

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,870	△147
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△7	79
その他の包括利益合計	△7	79
四半期包括利益	1,863	△68
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,863	△68

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,013	4,757	2	5,773	—	5,773
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,013	4,757	2	5,773	—	5,773
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	425	2,670	△7	3,088	△331	2,757

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	900	2,368	1	3,271	—	3,271
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	900	2,368	1	3,271	—	3,271
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	287	△97	△7	181	△372	△190

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。